

## シラバス 日本近代史における階級、ジェンダー、国民国家

2002-03年、後期

火曜日、2時限（10：40-12：10）

アドラー・ゴードン

総合文化研究科、地域文化研究専攻、客員教授

研究室：14号館506A、5454-6228

Eメール：agordon@fas.harvard.edu

このゼミで、戦前期を中心に、日本の近代史における階級、ジェンダー、国民国家へのさまざまなアプローチを探る。日本史を比較史的な、かつグローバルなコンテキストの中に位置づけようとする。そのため、ヨーロッパ、米国の歴史を取り上げる文献、理論化の試みもゼミの最初の数週間、読むことにする。その後、日本語での論文などを読み、学生自身の個別又、グループ別の調査をへて、学期の最後に資料紹介や研究発表を行う。

担当者の現研究関心を反映してこのゼミの大きな、やや抽象的となりがちなテーマへのアプローチとして、物質文化、技術、消費に関する具体的な研究の可能性を検討したいと思う。

### 授業日程

10月8日 ゼミの紹介、学生の自己紹介

第一部 階級、ジェンダー、国民国家に関する欧米における最近の研究

10月15日 「階級」の限界と可能性

David Cannadine, *The Rise and Fall of Class in Britain* (1999). Preface and Chapter 1 pp. xi-xiv, 1-24. (報告者：大田)

10月22日 米国史における「中産階級」

Burton J. Bledstein and Robert D. Johnston, *The Middling Sorts: Explorations in the History of the American Middle Class* (2001). Introduction, pp. 1-26 (報告者：川口)

学生報告：Marina Moskowitz, “Public Exposure: Middle-Class Material Culture at the Turn of the Twentieth Century,” in Bledstein and Johnston, *The Middling Sorts*, pp. 170-84. (報告者：Teasley)

10月29日 フランスに置いての階級とジェンダー：ミシンの例

Judith Coffin, “Consumption, Production and Gender: The Sewing Machine in 19<sup>th</sup> Century France,” in Laura L. Frader and Sonya O. Rose, *Gender and Class in Modern Europe* (1996), pp. 111-141. (報告者：豊田)

11月5日 文化史、社会史と階級

Dror Wahrman, *Imagining the Middle Class* (1995), Ch. 1, pp. 1-18 (報告者：与那覇)  
学生報告：Ch. 11, "Middle Class Conquest of the Private Sphere," pp. 377-408  
(報告者：森)

## 第二部 日本史の場合階級、ジェンダー、国民国家に関する欧米においての最近の研究

11月12日： 国家と国民

牧原憲夫「客民と国民のあいだ」(1998)、はじめに, pp. 1-19  
祝祭：客分のままの国民化, pp. 148-74 (報告者：松谷)

11月19日： 新技術と大衆文化

鈴木淳新、「新技術の社会誌」日本の近代、15、中央公論社、1999  
大衆の新技術・自転車、ラジオ(192-240)、家庭生活の変容・洗濯機、ガス(241-281)  
(報告者：渋谷)

11月26日： ラジオの場合

竹山昭子、「ラジオの時代」(世界思想社、2002年)第1, 2, 3章、  
時間メディアの誕生、天皇報道、放送文化、7-268 (報告者：?)

12月3日： 方法、新課題について

市原博、「ホワイトカラーの社会史」中村政則編、「近代日本の新視点」2000年  
pp.136-55。(報告者：須永)  
姫岡とし子、「社会経済史とジェンダー」 「社会経済史学の課題と展望」  
2000年、pp. 413-25.(報告者：?)

## 第三部 学生の報告、発表

12月10日、大田、Worrall

12月17日、渋谷、Teasley

1月14日、与那覇、森、川口

1月21日、豊田、須永、松谷